

# 第1回 西米良村農業委員会総会議事録

## I 開催日時及び場所

日 時： 平成31年4月18日（木） 15:00～15:40

場 所： 西米良村基幹集落センター 2階会議室

## II 出席委員（農業委員7名）

1番：中武武司会長、2番：黒木保正、3番：黒木廣喜、4番：黒木和子、  
5番：田爪朝幸、6番：上村好彦、7番：佐伯秀巳

## III 提出議題

議案第1号 平成30年度の目標及びその達成に向けた活動の点検・評価について

議案第2号 平成31年度の目標及びその達成に向けた活動計画について

## IV 総会経過

### 1 開 会

農業委員会事務局長 濱砂 亨の進行で開会した。

### 2 会長あいさつ

開会にあたって、中武武司会長があいさつを行った。

### 3 議 事

西米良村農業委員会会議規則第3条第1項の規定により、中武武司会長が議長とな  
って議事を進行した。

審議に先立ち、中武武司会長より、佐伯秀巳委員と黒木保正委員が議事録署名者に  
指名された。

#### 【中武武司会長】

議案第1号「平成30年度の目標及びその達成に向けた活動の点検・評価」につ  
いて、事務局から説明をお願いします。

#### 【事務局】

平成30年度の目標及びその達成に向けた活動の点検・評価について、説明いた  
します。

※下記のとおり、説明を行った。

(別紙様式2)

平成30年度の目標及びその達成に向けた活動の点検・評価

都道府県名：宮崎県  
農業委員会名：西米良村農業委員会

I 農業委員会の状況（平成31年3月）

1 農業の概要

単位：ha

	田	畑	畑			計
			普通畑	樹園地	牧草畑	
耕地面積	63	53	0	0	0	116
経営耕地面積	25	25	7	18	0	50
遊休農地面積	8	3	3	0	0	12
農地台帳面積	65	65	65	0	0	130

- ※1 耕地面積は、耕地及び作付面積統計における耕地面積を記入
- ※2 経営耕地面積は、農林業センサスに基づいて記入
- ※3 遊休農地面積は、農地法第30条第1項の規定による農地の利用状況調査第1号又は第2号のいずれかに該当する農地の総面積を記入

農家数（人）		農業者数（人）		経営数（経営体）	
総農家数	139	農業就業者数	101	認定農業者	11
自給的農家数	50	女性	43	基本構想水準到達者	0
販売農家数	89	40代以下	7	認定新規就農者	2
主業農家数	16	※ 農林業センサスに記入。		農業参入法人	0
準主業農家数	19			集落営農経営	0
副業的農家数	54			特定農業団体	0
				集落営農組織	0

※ 農林業センサスに基

※農業委員会調べ

2 農業委員会の現在の体制

旧制度に基づく農業委員会

任期満了年月日 H 年 月 日

	選挙委員		選任委員					合計
	定数	実数	農協推薦	共済推薦	土地改良	議会推薦	計	
農業委員数	—	0	0	0	0	0	0	0
認定農業者	—	0	0	0	0	0	0	0
女性	—	0	0	0	0	0	0	0
40代以下	—	0	0	0	0	0	0	0

新制度に基づく農業委員会

任期満了年月日 H 3 2 年 7 月 1 9 日

	農業委員		農地利用最適化推進委員	定数	実数	地区数
	定数	実数				
農業委員数	7	7		0	0	0
認定農業者	1	1				
認定農業者に準	0	0				
女性	1	1				
40代以下	0	0				
中立委員	1	1				

\*現在の体制を記載することとし、年度途中で切り替わった場合はいずれも記載

## II 担い手への農地の利用集積・集約化

### 1 現状及び課題

現 状 (平成31年3月現在)	管内の農地面積	これまでの集積面積	集積率
		116ha	18.6ha
課 題	高齢化の進行と共に遊休農地、耕作放棄地が増えている。		

※1 管内の農地面積は、活動計画に記載した耕地及び作付面積統計における耕地面積を記入

※2 これまでの集積面積は、活動計画に記載した担い手(認定農業者及び農業委員会法施行規則第10条で定める者)へ利用集積されている農地の総面積を記入

### 2 平成30年度の目標及び実績

集積目標 ①	集積実績 ②	(うち、新規実績)	達成状況(②/①×100)
18.2ha	18.6ha	4.9ha	102%

※1 集積目標は、活動計画に記載した集積面積を記入

※2 集積実績は、年度末時点で担い手へ利用集積されている農地の総面積を記入

※3 新規実績は、集積実績のうち1年間に新規集積面積(非担い手が自作又は利用していた農地のうち、担い手に対して権利の設定・移転がされた農地)をどの程度増加させたかを記入

### 3 目標の達成に向けた活動

活動計画	担い手への農地の利用集積を推進するため、農地中間管理事業を活用していく。
活動実績	村有農地について、農地借受を希望する農家があったため、農地利用集積円滑化事業を活用することにより、柚子団地を平成30年8月に2件40,747㎡を担い手へ集約を行った。また、村有地のカラーピーマン用地について、宮崎県農業振興公社との契約をしていた農地売買等事業の契約期間が終期を向えたため農地中間管理事業の活用を行い2件8,838㎡契約の締結を行った。

※ 活動実績は、目標の達成のために何月に何日何を行ったのか等詳細かつ具体的に記入

### 4 目標及び活動に対する評価

目標に対する評価	農地利用集積円滑化事業、農地中間管理事業に伴う担い手への集積があった。
活動に対する評価	村有の農地について、担い手に集積を行った。

### Ⅲ 新たに農業経営を営もうとする者の参入促進

#### 1 現状及び課題

新規参入の状況	27年度新規参入者数	28年度新規参入者数	29年度新規参入者数
	0経営体	0経営体	2経営体
	27年度新規参入者が取得した農地面積	28年度新規参入者が取得した農地面積	29年度新規参入者が取得した農地面積
	0ha	0ha	4.1ha
課題	山間地で農地が狭く一般的な農作物では、農業経営が厳しい状況にある。		

※1 新規参入者数は、活動計画に記載した過去3年の農地の権利移動を伴う新たな新規参入者数を記入し、法人雇用や親元就農は含まない。

※2 新規参入者が取得した農地面積は、上段で記入した経営体が取得した農地面積の合計を記入

#### 2 平成30年度の目標及び実績

参入目標①	参入実績②	達成状況(②/①×100)
1経営体	0経営体	0%
参入目標面積③	参入実績面積④	達成状況(④/③×100)
0.5ha	0ha	0%

※1 参入目標及び参入目標面積は、活動計画に記載した参入者数及び農地面積を記入

※2 参入実績は、1年間に新たに参入した新規参入者数を記入

※3 参入実績面積は、上記で記入した経営体が取得した農地面積の合計を記入

#### 3 目標の達成に向けた活動

活動計画	<ul style="list-style-type: none"> <li>・柚子の放棄園等を活用した取り組みの推進。</li> <li>・西米良村で推進している定住対策と併せて耕作放棄地等の再生を推進する。</li> <li>・農地中間管理事業を活用した村有地(カラーピーマン等)の貸借を行う。</li> </ul>
活動実績	<ul style="list-style-type: none"> <li>・新規参入者から相談があった際、随時相談を受けた。</li> <li>・新規参入者のカラーピーマン参入の準備に伴い農業委員会で情報共有を行った。</li> <li>・農地中間管理事業を活用した村有地(カラーピーマン等)の貸借を行った。</li> </ul>

※ 活動実績は、目標の達成のために、何月に何日何を行ったのか等詳細かつ具体的に記入

#### 4 目標及び活動に対する評価

目標に対する評価	農地中間管理事業の活用を行うことにより、柚子団地(村有地)を新規就農者に集積することができた。
活動に対する評価	新規参入者からの相談があり相手が必要とする情報提供を行えた。

#### IV 遊休農地に関する措置に関する評価

##### 1 現状及び課題

現 状 (平成31年3月現在)	管内の農地面積(A)	遊休農地面積(B)	割合(B/A×100)
	128.2ha	12.2ha	10%
課 題	村内には、狭い農地が多く点在しており、担い手不足や鳥獣被害等により、遊休農地が増えている。		

※1 管内の農地面積は、活動計画に記載した耕地及び作付面積統計における耕地面積と農地法第30条第1項の規定による農地の利用状況調査により把握した同法第32条第1項第1号の遊休農地の合計面積を記入

※2 遊休農地面積は、活動計画に記載した農地法第30条第1項の規定による農地の利用状況調査により把握した第32条第1項第1号又は第2号のいずれかに該当する農地の総面積を記入

##### 2 平成30年度の目標及び実績

解消目標①	解消実績②	達成状況(②/①×100)
0.5ha	0ha	0%

※1 解消目標は、活動計画に記載した解消面積を記入

※2 解消実績は、当該年度末時点の遊休農地の解消面積を記入

##### 3 2の目標の達成に向けた活動

活動計画	措置の内容	調査員数(実数)	調査実施時期	調査結果取りまとめ時期	
			7人	8月～9月	9月～10月
活動計画	農地の利用状況調査	調査方法	<ul style="list-style-type: none"> <li>・村内全域を調査区域とし道路からの目視による巡回を実施。</li> <li>・各地区に農業委員を配置して調査。</li> <li>・遊休化している農地に対して、非農地判断や意向調査等を行う。</li> </ul>		
	農地の利用意向調査	調査実施時期:8月～10月			
	その他の活動				
活動実績	農地の利用状況調査	調査員数(実数)	調査実施時期	調査結果取りまとめ時期	
		7人	8月～12月	12月	
	農地の利用意向調査	調査実施時期	12月	調査結果取りまとめ時期	1月
		第32条第1項第1号	第32条第1項第2号	第33条	
		調査数: 116筆	調査数: 0筆	調査数: 0筆	
	調査面積: 3.3ha	調査面積: 0ha	調査面積: 0ha		
その他の活動					

##### 4 目標及び活動に対する評価

目標に対する評価	農業者の高齢化、担い手不足、農地状況の特に悪い農地については耕作放棄地の増加が考えられるので、第三者への貸借のあっせんを行う必要がある。
活動に対する評価	耕作放棄地について、農地としての再生が不可能な農地について、非農地判断調査を行い周りの農業環境に影響を与えないように農地以外の地目設定を行うように土地所有者に促す必要がある。

## V 違反転用への適正な対応

### 1 現状及び課題

現 状 (平成31年3月現在)	管内の農地面積(A) 116ha	違反転用面積(B) 0ha
課 題	現在、違反転用はない。	

※ 管内の農地面積は、活動計画に記載した耕地及び作付面積統計における耕地面積を記入

※ 違反転用面積は、活動計画に記載した管内で農地法第4条第1項又は第5条第1項の規定等に違反して転用されている農地の総面積を記入

### 2 平成30年度実績

実 績①	増減(B-①)
0ha	0ha

※ 実績は、年度末時点の違反転用面積を記入

### 3 活動計画・実績及び評価

活動計画	定期的な農地パトロール・通報に対する即時対応をする。
活動実績	4月から11月に掛けて村内の農地パトロールを行った。
活動に対する評価	農地パトロールを行ったことにより、違反転用を未然に防止することができた。

※ 活動実績は、違反転用の解消や早期発見・未然防止のために何月に何日何を行ったのか等詳細かつ具体的に記入

## VI 農地法等によりその権限に属された事務に関する点検

### 1 農地法第3条に基づく許可事務

(1年間の処理件数: 1件、うち許可 1件及び不許可 0件)

点検項目		具体的な内容			
事実関係の確認	実施状況	あり			
	是正措置	特になし			
総会等での審議	実施状況	あり			
	是正措置	特になし			
申請者への審議結果の通知	実施状況	申請者へ総会等での指摘や許可条件等を説明した件数	1件		
		不許可処分の理由の詳細を説明した件数	0件		
	是正措置	特になし			
審議結果等の公表	実施状況	ホームページにより議事録の公表をしている。			
	是正措置	特になし			
処理期間	実施状況	標準処理期間	申請書受理から14日	処理期間(平均)	14日
	是正措置	特になし			

### 2 農地転用に関する事務 (意見を付して知事への送付)

(1年間の処理件数: 3件)

点検項目		具体的な内容			
事実関係の確認	実施状況	あり			
	是正措置	特になし			
総会等での審議	実施状況	あり			
	是正措置	特になし			
審議結果等の公表	実施状況	村のホームページにより議事録の公表をしている。			
	是正措置	特になし			
処理期間	実施状況	標準処理期間	申請書受理から30日	処理期間(平均)	30日
	是正措置	特になし			

3 農地所有適格法人からの報告への対応

点検項目	実施状況	
農地所有適格法人からの報告について	管内の農地所有適格法人数	法人
	うち報告書提出農地所有適格法人数	法人
	うち報告書の督促を行った農地所有適格法人数	法人
	うち督促後に報告書を提出した農地所有適格法人数	法人
	うち報告書を提出しなかった農地所有適格法人	法人
	提出しなかった理由	
	対応方針	
農地所有適格法人の状況について	農地所有適格法人の要件を欠くおそれがあるため農業委員会が必要な措置をとるべきことを勧告した農地所有適格法人数	法人
	対応状況	

4 情報の提供等

点検項目	具体的な内容	
賃借料情報の調査・提供	実施状況	調査対象賃貸借件数 2件 公表時期 平成30年4月 情報の提供方法: 村のホームページ
	是正措置	
農地の権利移動等の状況把握	実施状況	調査対象権利移動等件数 0件 取りまとめ時期 情報の提供方法:
	是正措置	
農地台帳の整備	実施状況	整備対象農地面積 130.5ha
		データ更新: 随時
	公表: インターネットでの議事録公表	
是正措置		

※その他の事務

上記ⅡからⅥに掲げる事務以外の事務について、次年度の目標及びその達成に向けた活動計画を作成する場合には、それぞれの事務ごとに、上記様式に準じて取りまとめること。

## VII 地域農業者等からの主な要望・意見及び対処内容

農地利用最適化等に関する事務	〈要望・意見〉  〈対処内容〉
----------------	-----------------------

農地法等によりその権限に属された事務	〈要望・意見〉  〈対処内容〉
--------------------	-----------------------

※ II～VIの事務について、活動を通じて地域の農業者等から寄せられた主な意見及び対処方針について記載

## VIII 事務の実施状況の公表等

### 1 総会等の議事録の公表

HPに公表している

その他の方法で公表している

--

### 2 農地等利用最適化推進施策の改善についての意見の提出

意見の提出件数

0 件

提出先及び提出した意見の概要	
----------------	--

### 3 活動計画の点検・評価の公表

HPに公表している

その他の方法で公表している

--

**【事務局】**

以上で説明を終わります。

**【中武武司会長】**

事務局から、説明を受けたところですが、質疑はございませんか。

**【委員一同】**

ありません。

**【中武武司会長】**

質疑もないようですので、決をとります。議案第1号「平成30年度の目標及びその達成に向けた活動の点検・評価」について異議のある方はいらっしゃいませんか。

**【委員一同】**

全員異議なし。

**【中武武司会長】**

全委員賛成ということで、議案第1号「平成30年度の目標及びその達成に向けた活動の点検・評価」については、可決されました。

次に議案第2号「平成31年度の目標及びその達成に向けた活動計画」について、事務局から説明をお願いします。

**【事務局】**

それでは、第2号議案「平成31年度の目標及びその達成に向けた活動計画」について説明をいたします。

※ 資料に沿って説明を行った。

(別紙様式1)

### 平成31年度の目標及びその達成に向けた活動計画

都道府県名： 宮崎県  
 農業委員会名： 西米良村農業委員会

#### I 農業委員会の状況(平成31年4月1日現在)

##### 1 農家・農地等の概要

農家数(戸)		農業者数(人)		経営数(経営)	
総農家数	139	農業就業者数	101	認定農業者	11
自給的農家数	50	女性	43	基本構想水準到達者	0
販売農家数	89	40代以下	7	認定新規就農者	2
主業農家数	16	※ 農林業センサスに基づいて記入。		農業参入法人	0
準主業農家数	19			集落営農経営	0
副業的農家数	54			特定農業団体	0
※ 農林業センサスに基づいて記入。				集落営農組織	0

※農業委員会調べ

単位:ha

	田	畑				計
			普通畑	樹園地	牧草畑	
耕地面積	63	53				116
経営耕地面積	25	25	7	18	0	50
遊休農地面積	8.3	3.9	3.9	0	0	12.2
農地台帳面積	65.3	65.2	65.2	0	0	130.5

※1 耕地面積は、耕地及び作付面積統計における耕地面積を記入

※2 経営耕地面積は、農林業センサスに基づいて記入

※3 遊休農地面積は、農地法第30条第1項の規定による農地の利用状況調査により把握した第32条第1項第1号又は第2号のいずれかに該当する農地の総面積を記入

##### 2 農業委員会の現在の体制

旧制度に基づく農業委員会

任期満了年月日 H 年 月 日

	選挙委員		選任委員				合計
	定数	実数	農協推薦	共済推薦	土地改良推薦	議会推薦	
農業委員数	-	-	-	-	-	-	-
認定農業者	-	-	-	-	-	-	-
女性	-	-	-	-	-	-	-
40代以下	-	-	-	-	-	-	-

新制度に基づく農業委員会

任期満了年月日 H 3 2 年 7 月 1 9 日

	農業委員		定数	実数	地区数
	定数	実数			
農業委員数	7	7			
認定農業者	1	1			
認定農業者に準ずる者	0	0			
女性	1	1			
40代以下	0	0			
中立委員	1	1			

	定数	実数	地区数
農地利用最適化推進委員	0	0	0

\*現在の体制を記載することとし、旧・新しいいずれかの記載事項は削除

## II 担い手への農地の利用集積・集約化

### 1 現状及び課題

現 状 (平成31年4月現在)	管内の農地面積	これまでの集積面積	集積率
	116ha	18.6ha	16.0%
課 題	高齢化の進行に伴い遊休農地、耕作放棄地が増えている。		

※1 管内の農地面積は、耕地及び作付面積統計における耕地面積を記入

※2 これまでの集積面積は、把握時点において担い手(認定農業者及び農業委員会法施行規則第10条で定める者)へ利用集積されている農地の総面積を記入

### 2 平成31年度の目標及び活動計画

目 標	集積面積	20.4ha	(うち新規集積面積	1.8ha)
	目標設定の考え方: 県の集積目標面積を踏襲。			
活動計画	担い手への農地の利用集積を推進するため、農地中間管理事業を活用していく。			

※1 集積面積は、当該年度末時点で担い手へ利用集積されている農地の総面積を記入

※2 新規集積面積は、集積面積のうち1年間に新規集積面積(非担い手が自作又は利用していた農地のうち、担い手に対して権利の設定・移転させた農地)をどの程度増加させるかを記入

※3 活動計画は、目標の達成のために何月に何を行うのか等詳細かつ具体的に記入

## III 新たな農業経営を営もうとする者の参入促進

### 1 現状及び課題

新規参入の状況	28年度新規参入者数	29年度新規参入者数	30年度新規参入者数
	0経営体	2経営体	0経営体
	28年度新規参入者が取得した農地面積	29年度新規参入者が取得した農地面積	30年度新規参入者が取得した農地面積
	0ha	4ha	0ha
課 題	山間地で農地が狭く、一般的な農作物では農業経営が厳しい状況にある。		

※1 新規参入者数は、過去3年の農地の権利移動を伴う各年度ごとの新たな新規参入数を記入し、法人雇用や親元就農は含まない(欄の最も右が昨年度)

※2 新規参入者が取得した農地面積は、上段で記入した経営体が取得した農地面積の合計を記入

### 2 平成31年度の目標及び活動計画

参入目標数	1経営体	参入目標面積	1.8ha
活動計画	<ul style="list-style-type: none"> <li>・柚子の放棄園等を活用した取り組みの推進。</li> <li>・西米良村で推進している定住対策と併せて耕作放棄地等の再生を推進する。</li> <li>・農地利用集積円滑化事業を活用して村、農協、個人と契約を進めているが、今後、農業振興地域に編入をした後に農地中間管理事業を活用した村有地(柚子団地)の貸借を行う。</li> </ul>		

※1 目標は、1年間に新たに参入させる新規参入者数及び参入目標面積を記入

※2 活動計画は、目標の達成のために何月に何を行うのか等詳細かつ具体的に記入

#### IV 遊休農地に関する措置

##### 1 現状及び課題

現 状 (平成31年4月現在)	管内の農地面積(A)	遊休農地面積(B)	割合(B/A×100)
	128.2ha	12.2ha	9.5%
課 題	村内には、狭い農地が多く点在しており、担い手不足や鳥獣被害等により、遊休農地が増えている。		

※1 管内の農地面積は、耕地及び作付面積統計における耕地面積と農地法第30条第1項の規定による農地の利用状況調査により把握した同法第32条第1項第1号の遊休農地の合計面積を記入

※2 遊休農地面積は、農地法第30条第1項の規定による農地の利用状況調査により把握した第32条第1項第1号又は第2号のいずれかに該当する農地の総面積を記入

##### 2 平成31年度の目標及び活動計画

目 標	遊休農地の解消面積 0.5ha 目標設定の考え方: 昨年度の実績を基に目標設定を行った。		
活 動 計 画	調査員数(実数)	調査実施時期	調査結果取りまとめ時期
	7人	8月～9月	9月～10月
	調査方法	<ul style="list-style-type: none"> <li>・村内全域を調査区域とし道路からの目視による巡回を実施。</li> <li>・各地区に農業委員を配置して調査。</li> <li>・遊休化している農地に対して、非農地判断や意向調査等を行う。</li> </ul>	
	農地の利用意向調査	実施時期	調査結果取りまとめ時期
その他	8月～10月	10月～12月	

※1 遊休農地の解消面積は、当該年度末時点の遊休農地の解消面積を記入

※2 遊休農地の解消面積は、市町村等が策定した目標を農業委員会が共有している場合には、当該市町村等の目標を記入しても差し支えない

※3 「その他」欄には、利用状況調査・意向調査以外の遊休農地解消のための活動を記入

#### V 違反転用への適正な対応

##### 1 現状及び課題

現 状 (平成31年4月現在)	管内の農地面積(A)	違反転用面積(B)
	116ha	0ha
課 題	今後も所有者の農地法に対する認識の不足による転用がおこならうに、広報誌・ホームページによる周知を図る必要がある。	

※ 管内の農地面積は、耕地及び作付面積統計における耕地面積を記入

※ 違反転用面積は、把握時点において管内で農地法第4条第1項又は第5条第1項の規定等に違反して転用されている農地の総面積を記入

##### 2 平成31年度の活動計画

活動計画	農地の転用について、村広報誌・ホームページ等を活用し広報・啓発を行う。
------	-------------------------------------

※ 活動計画は、違反転用の解消や早期発見・未然防止のために何月に行うのか等詳細かつ具体的に記入

**【事務局】**

今年度も農地利用状況調査、非農地判断調査を計画しておりますので、ご協力よろしく申し上げます。以上で説明を終わります。

**【中武武司会長】**

事務局から、説明を受けたところですが、質疑はございませんか。

**【委員一同】**

ありません。

**【中武武司会長】**

質疑もないようですので、決をとります。議案第2号「平成31年度の目標及びその達成に向けた活動計画」について異議のある方はいらっしゃいませんか。

**【委員一同】**

全員異議なし。

**【中武武司会長】**

全委員賛成ということで、議案第2号「平成31年度の目標及びその達成に向けた活動計画」については、可決されました。

ご意見、無いようですので、これで、審議を終わります。

事務局長が、総会を閉会する。 15：40

議事を作成した者の職、氏名

事務局長 濱砂 亨

事務局 後藤田真利

以上、会議の顛末を記録し、その相違なきことを証するため署名する。

議長 会長

署名委員 7 番委員

署名委員 2 番委員